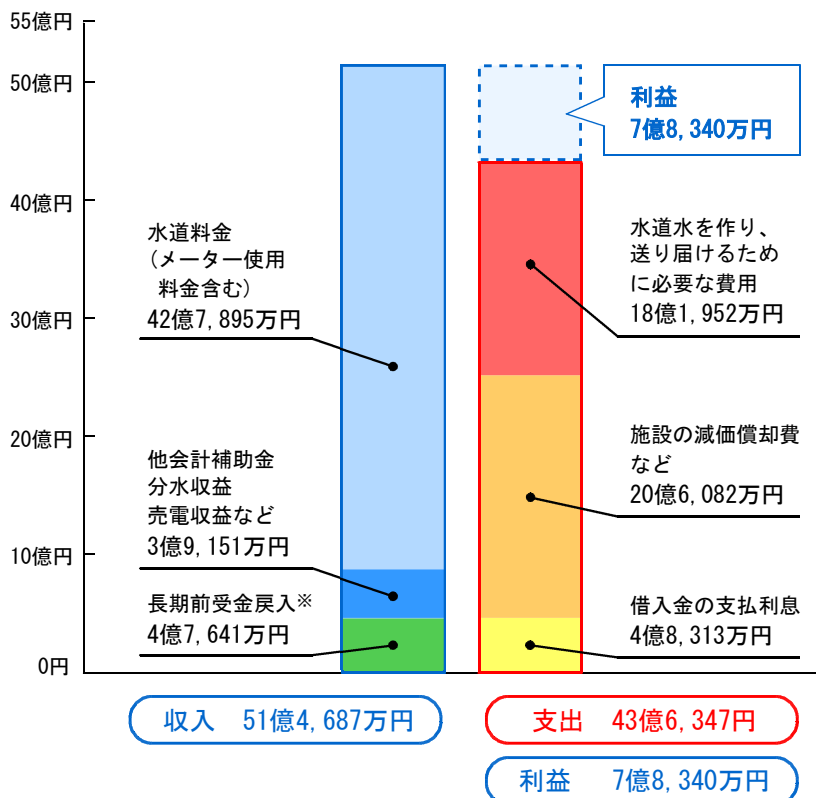


平成29年度徳島市水道事業会計決算のあらまし

水道事業会計は、「**収益的収支**」と「**資本的収支**」に区分されており、平成29年度の決算は次のとおりとなりました。

今後とも経営の安定化を図るとともに、市民サービスの充実に努めてまいります。

収益的収支（税抜）



収益的収支とは、水道水を作り、各家庭へ送り届けるために必要な経費とその財源です。

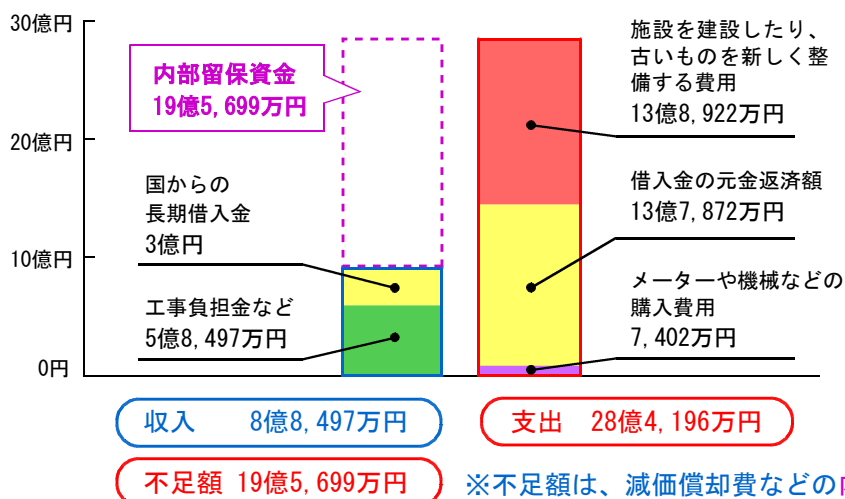
経費とは、人件費、物件費、減価償却費、支払利息などです。

財源は、みなさまからお支払いいただいている水道料金、他会計からの補助金、分水収益などの収入です。

経営の黒字、赤字はこれらの収支で判断し、平成29年度は約7億8,340万円の黒字となりました。

※長期前受金戻入とは、水道管などの固定資産の取得の際に交付された補助金、工事負担金など(長期前受金)を資産の減価償却に合わせて各年度に収益として計上するものです。

資本的収支（税込）



資本的収支とは、水道施設を整備、拡充していくために必要な経費とその財源です。

経費は、施設の建設や古い水道管の布設替工事などにかかる費用や借入金の返済です。

財源は、国からの長期借入金や工事負担金などの収入です。

※不足額は、減価償却費などの**内部留保資金**で賅っています。

平成29年度に実施した事業概要

徳島市水道局では、「徳島市水道ビジョン」に基づき、「安心、安定、持続、環境・技術協力」の視点に立ち、「水都・とくしまの信頼のライフライン」の実現を目指しています。

平成29年度は、「環境にやさしい浄水場」を目指し、二酸化炭素排出抑制対策事業の実施（浄水施設建設改良事業）及び、古くなった水道管の「更新・耐震化」（配水管整備事業）に取り組みました。

浄水施設建設改良事業

○商用使用電力量の削減を目的とし、第十浄水場に自家用太陽光発電設備を設置する工事を行いました。

※この工事は環境省の補助事業（二酸化炭素排出抑制対策事業）として、補助対象経費の3分の2を補助金で賄いました。

○安定した地下水の取水能力を持続するため、第3水源3号取水井長寿命化対策工事（JAバンク蔵本公園内）などを行いました。

配水管整備事業

○管路の耐震化対策として、配水管整備事業全体で 7,730m の耐震管を布設することにより、水道管路全体の耐震化率は、前年度から 0.6% 上昇し 35.0% となりました。

基幹管路（導水管、送水管及び口径 400mm以上の配水管）の耐震化率は、前年度から 0.3% 上昇して 47.7% となりました。

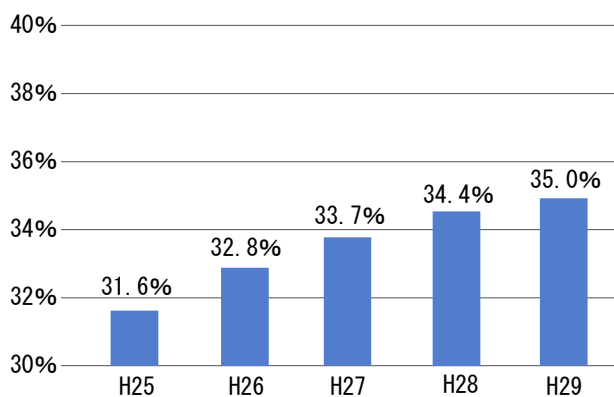
水道管路の耐震化状況

水道管は、そのほとんどが地面の下に埋まっているため、大きな地震が起きると水道管が折れたり、抜けたりして水が出なくなることがあります。

そのようなことにならないために、水道局では古い水道管を地震に強い水道管「耐震管」に取り替える「耐震化」の工事を行っています。

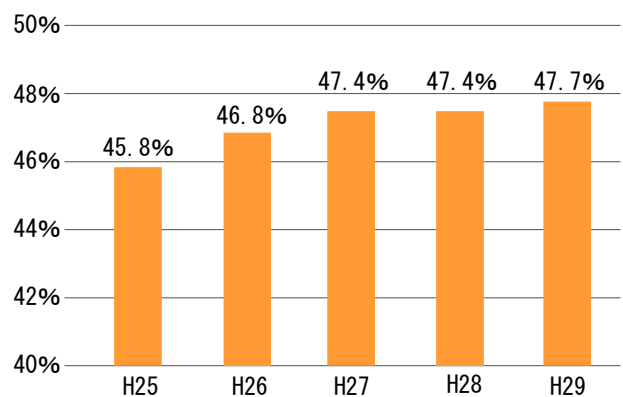
水道管路の耐震化の状況は以下のようになっています。

管路全体の耐震化率



※管路総延長 1,170,601m のうち耐震管は、409,248m となっています。

基幹管路の耐震化率



※基幹管路 128,867m のうち耐震管は、61,434m となっています。